



「T P O」

「T P O」というフレーズがよく使われます。「T P O」とはT i m e（時）、P l a c e（場所）、O c c a s i o n（場面）の三つの英単語の頭文字を取った略語です。この言葉はもともとはファッション業界で使われたいたものが、いろいろな場面で使用されるようになったようです。

始まりは、1964年の東京オリンピックの時のようです。世界中の人々がオリンピックを観戦するために日本に来ました。その時に、世界の人々が日本人と触れ合うときに違和感や嫌悪感をいだかないように、「T P O」を考えた服装をしようということで叫ばれました。

1964年の東京オリンピックの時は私は6歳でした。テレビで女子バレーが金メダルを取った試合など今でも覚えています。すべての国民がこのオリンピックに熱狂しました。この時代を思い出すと、公衆トイレでなく道端でオシッコをしている人などを見かけることもありました。また、夏はシャツを脱いで上半身裸でいる人もいました。時と場所と場合を考えて服装などを整えることや、モラルに反した行動を慎むことが求められました。日本規格でなく世界規格の「T P O」を国民に求められたのです。

今は、「T P O」は人が行動するときは必ず考えなければならないことです。特に学校のようなさまざまな人が生活している場所では、家では許されることや友達など限られた中で許されることが、「T P O」から外れていることもたくさんあります。

友達と話すことは、悪いことではありませんが、朝読書の時間に私語をするのは「T P O」から外れていますし、校庭でキャッチボールをするのは悪いことではありませんが、学校の廊下で行ったら、「T P O」を考えていないことと非難されるでしょう。私たちは、常に「T P O」を考えて生活することが大切だと思います。

あなたは、学校生活で「T P O」を意識していますか？学校での時間・場所・場面を考えて行動できるようにしていきましょう。